

資料 4

地方版図柄入りナンバープレートの 今後のあり方

1. 現状

- 交付期間を設けておらず、図柄変更も認めていないことから、人気のない地域については、広告塔としての効果が十分に発揮されない状況が続いている。
- 継続需要を確保するためには、導入後においても導入地域自治体等における継続的な普及活動が重要となるが、普及活動が十分になされず、申込件数が大きく低迷した場合、標板製作者側が不良在庫のリスクを負うことになるが、自治体等のデメリットは存在しない。
- 導入地域でしか取り付けることができないため、付けたい図柄があっても他地域のユーザーは取り付けることができない。
- ご当地ナンバーにおいては、導入意思はありながら、保有車両数（登録自動車のみ）の導入基準を満たせずに、導入することができない自治体がある。

2. 論点

- 交付開始後に導入地域の判断による図柄変更を認めるような制度の必要性
- 導入地域毎に申込件数、普及率の目標値を設定させ、目標値達成のための普及促進活動等を自治体等の関係者に促す制度の必要性
- ふるさと納税のような、他地域の図柄を付けられるようにする必要性
- ご当地ナンバーの導入基準の更なる緩和、基準の見直しの必要性